

上のこゝろ！ 本校の先輩達

錦織竹香先生のこと

昭和43年県教育委員会発刊の『明治 島根の百傑』には、目覚ましい活躍をした女性として荘原地区出身者の錦織竹香女史が取り上げられています。

錦織竹香女史が活躍されたのは、明治・大正時代です。才能を発揮され、島根県内はもちろん、請われてその年に開校した奈良女子高等師範学校の教授となるほど優れた教育者でした。また、家事科（現在の家庭科）教員として、「普通裁縫書」や「最新小学校裁縫教授法」等、数々の著書を著され、家事科指導の普及に大いに貢献されています。16年間にわたる奈良女子高等師範学校での勤務等、永年の功績に対し従四位・勲四等瑞宝章を賜り、郷里にお戻りになりました。

現在、荘原小学校には錦織竹香女史の作品が2つ残されています。

1つ目が、二宮金次郎銅像の「至誠報徳」の揮毫、そして「忠節 孝順 貞淑 慈愛」（校訓）の扁額です。大切に伝えていきたいと思ひます。

年 月	主 な 出 来 事
安政元(1854)年 12月	宇屋神庭村に錦織家の長女として生まれる。
M 6(1873)年 12月	出雲郡第三番小学習字世話係となる。
M 7(1874)年 9月	第二十中学区神庭小学三等助教となる。
M 11(1878)年 9月	依願免職となり、松江女子師範学校に入学する。
M 12(1879)年 12月	松江女子師範学校小学師範学科を卒業、同校訓導補となる。
M 14(1881)年 10月	松江師範附属小学五等訓導となる。
M 17(1884)年 7月	島根師範学校七等訓導となる。
M 19(1886)年 10月	島根県尋常師範学校雇、女子寄宿舎係となる。
M 20(1887)年 2月	舎監心得となる。
M 26(1893)年 5月	島根県尋常師範学校高等女学校家事科教員免許状取得
M 35(1902)年 3月	島根県師範学校教諭兼舎監となる。
M 40(1907)年 4月	今市高等女学校教諭を兼任する。
M 42(1909)年 9月	新設奈良女子高等師範学校教諭兼生徒監に就任する。
T 13(1924)年 9月	奈良女子高等師範学校退職（16年間勤務）する。
T 13(1924)年 10月	叙位従四位 郷里に帰郷する。
T 13(1924)年 11月	叙勲四等瑞宝章を賜る。
S 12(1937)年 4月	二宮金次郎像を寄贈。
S 20(1945)年 3月	永眠

扁額には「昭和丁丑春」とあり、昭和12年の金次郎銅像寄贈と同時期の作品。

【参考文献】

「錦織竹香女史をしのんで」斐川町 1978.3刊

「明治島根の百傑」県教育委員会 1968 刊

